

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：南カリフォルニア大学（アメリカ）

Q. 今回の留学 プログラムの感想

回診での患者のプレゼンテーション、そのための事前診察や問診など学生に任せられる部分が多く、非常に充実した実習でした。また、現地の医学生は目的意識が高く、将来何をしたいのかというゴールが明確で刺激を受けました。
そして、今回実習を行ったロサンゼルス郡・南カリフォルニア大学医療センターはロサンゼルス中心部の公立病院であり、さまざまな生活歴を持つ患者さんが入院していました。そのため、銃創や重度の薬物中毒など日本では珍しい症例を診ることができたほか、米国の医療システムや多文化社会の複雑性を知ることができた、貴重な経験となりました。

Q. 健康管理や 危機管理について

ロサンゼルスは治安が悪い場所もあるので、夜遅くまで出かけない、現金を多く持ち歩かない、公共交通機関に一人で乗らないなどを心がけていました。また、寒暖差が激しいのと、日差しが強いので上着、サングラス、日焼け止めなどは必須です！

Q. 今回の派遣先への 留学を希望している 後輩たちへの メッセージ

渡航前の準備では不安要素がありましたが、現地のスタッフや友だちに支えられ、とても楽しく、充実した留学生活を送ることができました！
6年次での長期留学は、忙しい時期であるため応募のハードルが高いと感じてしまうかもしれませんが、大学での臨床実習を半分終えた時点での臨床留学は視野を広げる絶好の機会だと思うので、興味がある方はぜひ応募してみてください！

Q. 留学プログラムへの 応募前や選考、 渡航前などに大変や 不安だったこと

実習大学からの正式決定の連絡や、実習する診療科の決定連絡が遅く不安になりました。また、今年から始まったプログラムであるため、過去の資料がありませんでした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：必ず再訪したかったゲッティ・センターに10年ぶりに行くことができました！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：Keck School of Medicine of USC (アメリカ)

Q.今回の留学プログラムの感想

自分自身の成長という観点からは、かなり度胸がついた。英語はある程度できる自信があったが、実習が始まって3日目ぐらいまでは回診で何言っているかもわからないしカルテの使い方も慣れないなどかなり辛かった。もう僕の英語力は赤ちゃんレベルだと聞き直ってわからないところは全部「今指導医の先生はなんて言っていたの？」と聞くようにして以降少しずつ10日目ぐらいにはだいぶ慣れてきた。昔は英語で電話をかけるのが一番嫌だったが回診に比べたらなんてこともなく、電話に対する抵抗がなくなった。帰りの飛行機でアメリカ人に嫌なお願いをされたときにもしっかりNoと言えるようにになった。(最初はyesと言ってしまったが思い直した)実習の点では、日本では考えられないような症例を多数経験することができ、アメリカの医学教育の偉大さ、現地医大生の優秀さを実感し残りの実習をより真剣に行いたいし研修医になった時にアメリカでしっかりteachingもできるようなレベルになりたいと思った。

Q.健康管理や危機管理について

LAの公共交通機関は終わっている。特に地下鉄は尿とマリファナの匂いで充満している。バスも待っているのにスルーされたりする。割り切ってUber/Lyftを使うのがよい。

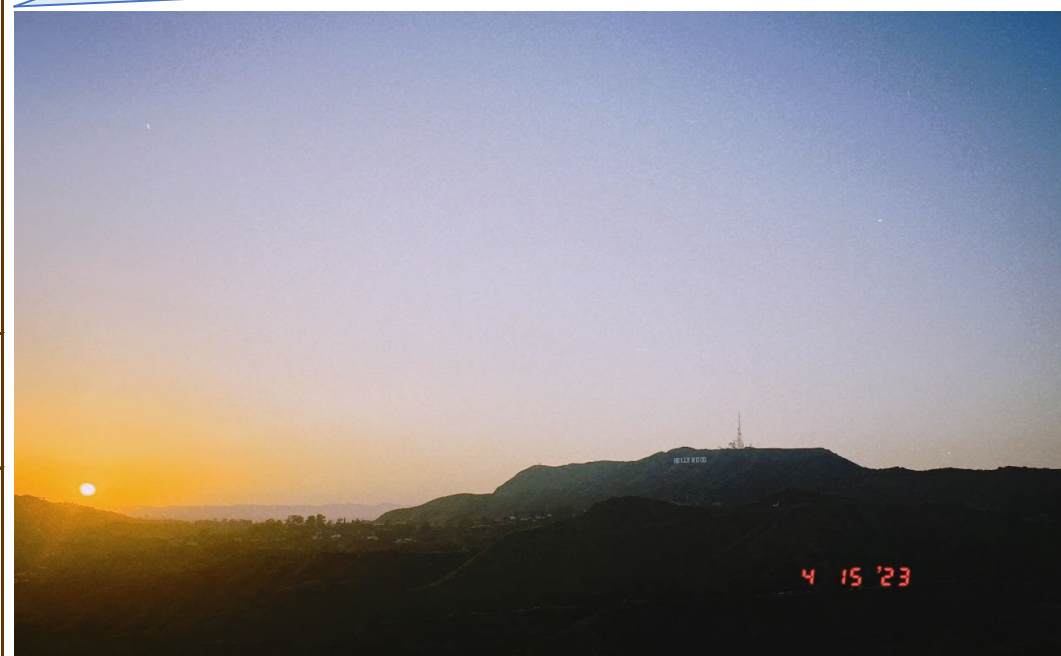
Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ

学生、レジデントともに非常に優しく、楽しくかつ勉強になる留学を送ることができました。また、場所もLAということもありディズニーに行ったりピバリーヒルズでショッピングをするなど楽しい生活ができた。

Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと

入国審査何言う問題は心配であったが、結局大丈夫だった。受け入れ証明が届くのが遅くワクチンが間に合うか心配だった。アメリカに留学する気がある人はAAMCのを参考に足りないのを先に打ってしまうのもありかもしれない。

留学中のお気に入りの写真



コメント：グリフィス天文台から

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：ヴァンダービルト大学（アメリカ）

Q.今回の留学 プログラムの感想

今回、海外臨床実習として1か月間、ヴァンダービルト大学小児病院にて小児外科の実習をする機会をいただきました。ヴァンダービルト大学は小児外科が非常に有名で、年間17,000件以上も手術が行われています。今回の実習を通して、先天性食道閉鎖症や先天性十二指腸狭窄症、Hirschsprung病などの稀な症例をそれぞれ何件も見ることができました。

また全体を通して、どの先生も本当に優しく定期的に気にかけてくださったり、どんな質問にも答えてくださったりと、非常にサポートが充実していました。実習を通して大変勉強になったことはもちろんですが、加えて、将来のキャリアの見通しを立てることもできたため、実習をさせていただけて非常によかったと感じています。

Q.健康管理や 危機管理について

健康管理としては毎日十分に睡眠をとるようにしていました。危機管理としては、一人ではいるときは特に、スマホに集中せず常に周囲に気をつけた方がよいです。一人でバスを待っていたら後ろから急に知らない男性に抱きつかれてヒヤッとしました。

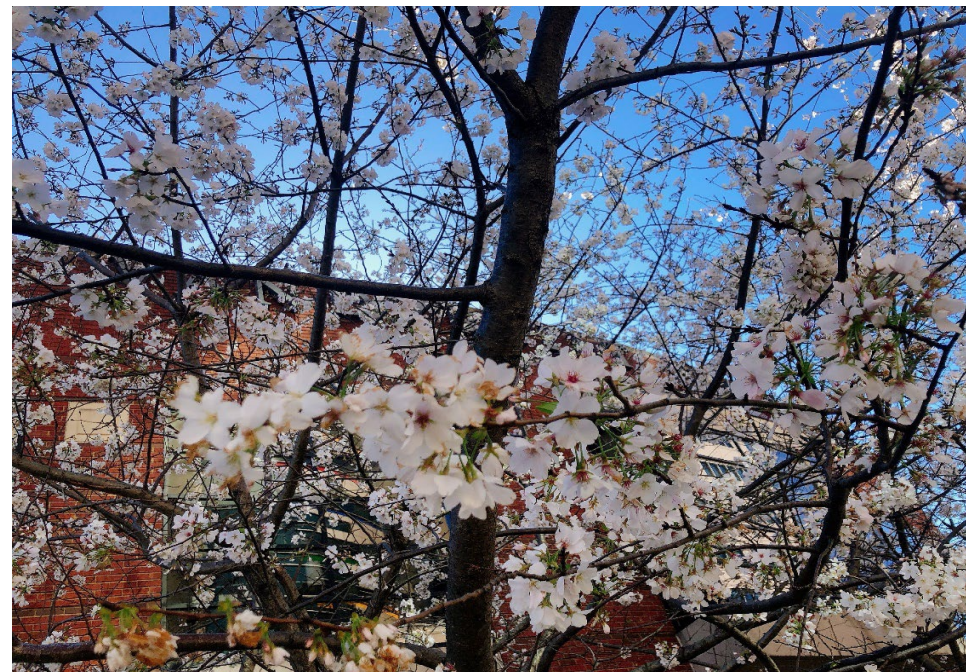
Q.今回の派遣先への 留学を希望している 後輩たちへの メッセージ

海外臨床実習では、自分の興味のある科が決まっている場合、その科で実習をすることを強くお勧めします。言語の壁を感じても、興味のある内容であれば必死に食いついていこうという気持ちになりますし、将来のキャリアを考えるにあたりロールモデルを探すこともできます。何より、自分の好きなことだと、4週間が非常に充実して楽しく、あっという間に感じられます。将来海外でのキャリアを考えている人はもちろん、まだ考え中という人も一度行ってみると自分の方向性が決まると思いますので、迷ったらぜひ行ってみてください。応援しています！！

Q.留学プログラムへの 応募前や選考、 渡航前などに大変や 不安だったこと

アメリカは物価が高いと聞いていたので不安でしたが、日本から食料をもっていったり、平日の朝夜は極力自炊をすることで節約していました。

留学中のお気に入りの写真



コメント：実はナッシュビルには桜の木が多くあります！3月初め頃が満開でした！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：アメリカ合衆国 テネシー州

**Q.今回の留学
プログラムの感想**

本当に充実していました！先生方の面倒見がもの凄く良く、プレゼンのフィードバックからミニレクチャーまで大変教育的な病院でした。研修医や看護師も優しい方が多く、人間関係で嫌な思いをすることは一切ありませんでした。また、当然のことながらヴァンダービルトの職員は皆驚くほど優秀です。また、現地の医学生レベルの高さに圧倒され、自分も頑張らなくてはと奮い立たされました。

**Q.健康管理や
危機管理について**

特に問題ありませんでした。大学周辺は安全ですが、盗難される可能性は0ではないので注意しましょう。

**Q.今回の派遣先への
留学を希望している
後輩たちへの
メッセージ**

つまらないアドバイスで申し訳ありませんが、留学前に回る科の勉強をすることを強く勧めます。

**Q.留学プログラムへの
応募前や選考、
渡航前などに大変や
不安だったこと**

渡米前の書類手続き(ワクチン証明、カルテのチュートリアル講座…etc)に思った以上に時間がかかります。

留学中のお気に入りの写真



コメント:最終日の豪華な夕食は本プログラムの大きな魅力です！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：ヴァンダービルト大学（アメリカ）

Q. 今回の留学プログラムの感想	研修については、先生方が優しく指導してくださったのと、大規模な病院で幅広い内分泌疾患の患者さんを見ることができたため良かったです。先生方が患者さんの病態や治療方針について時間をかけて楽しそうにディスカッションしていたのが印象的でした。文化が異なる国で生活することや出国前の準備など初めてのことはわかりましたが、うまくいくかわからなくてもその時にできる準備をしてあとは流れに身を任せてみることもできるようになったと思います。
Q. 健康管理や危機管理について	病院のすぐ近くの小学校で銃乱射事件があり、アメリカでは皆銃を持っているということを再認識させられました。
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	ヴァンダービルトの先生方は良い方が多く大学の周辺の治安も良いため、楽しい留学生活を送ることができると思います。頑張ってください。
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前など大変や不安だったこと	渡航前の住居選びと回る科・時期選びがとても不安でした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：後ろに見えているビルが小児病院です。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声

留学/派遣先（国名）：オーストラリア国立大学（オーストラリア）



Q. 今回の留学 プログラムの感想

多様な出自のスタッフや学生に囲まれ、また皆が微笑みながら会話してくれるおかげで穏やかな雰囲気醸成され、非常に快適な実習環境だった。医師はもちろん看護師などのコメディカルや患者、患者家族も学生実習に協力的だったので、問診・診察からある程度侵襲のある手技まで行うことができ、充実した実習を経験できた。

オーストラリアと日本では医療水準は同等だが、医療制度やスタッフの労働環境はかなり異なる。医師として臨床に出て日本の医療制度が当たり前になる前に別の仕組みを経験することで、自分の視野を広げることができた。

Q. 健康管理や 危機管理について

メルボルン滞在中の早朝、薬物中毒とおぼしき不審者に一瞬、おそろくつけられた。マリファナが蔓延しているメルボルンやシドニーの治安は東京やキャンベラほどよくはないので、早朝・夜間に観光地でもない場所をうつつくべきではない。

Q. 今回の派遣先への 留学を希望している 後輩たちへの メッセージ

「白豪主義」の歴史とは対照的に、現在のオーストラリアは多様性をとても大切にしています。オーストラリアの医師・医学生をみると、民族や性はもちろん、年齢、キャリア、将来像などいろいろな面で多様な人が集まっています（検査技師、子どもがいる人、さらに元バレリーナも）。ですから、日本の学生がどんな理由でオーストラリアに行こうとも、きっと彼らは受け入れてくれるはずです。行ってみて初めて自分の目標に気付くこともあると思います。ただの思い付きでも履歴書対策でも、たとえ立派な動機などなくとも、ぜひ挑戦してみてください。

Q. 留学プログラムへの 応募前や選考、 渡航前などに大変や 不安だったこと

長期の海外経験もなければHSLPにすら参加していなかったので、英会話力や英語圏のナリへの順応にかなり不安があった。コロナ禍で数年間派遣が停止していたために学生・医科歯科大・オーストラリア国立大学の3者すべてからノウハウが失われ、事前の手続きが大変だった。

留学中のお気に入りの写真



コメント：訪問診療科の先生方と、外来診察室で

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声

留学/派遣先（国名）：オーストラリア国立大学 キャンベラ病院



留学中のお気に入りの写真



コメント：オーストラリアでは動物たちと触れ合えます。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学先：オーストラリア国立大学 キャンベラ病院

Q. 今回の留学 プログラムの感想

外来見学、病棟実習、採血等の手技、患者さんとお話したりなど、さまざまな形で実習させていただき、充実した実習ができました。英語に関しては、思っていたよりも全然聞き取れず話についていけないことも多かったですが、自分の英語力がまだまだということがわかったのも今回の留学の収穫でした。日本と異なる医療制度や、様々な人種・文化的背景の人が共生する多文化な社会の中で過ごした時間はとても新鮮で楽しかったです。週末にはマーケットで色々な国の料理を食べたり、現地の学生とハイキングに行ったりと観光も楽しむことができ、実習前後にはオーストラリアの他の都市も訪れることができました。非常に充実した2ヶ月間になりました。

Q. 健康管理や 危機管理について

貴重品の管理は特に注意し常に持ち歩くようにしていました。健康面については、最後の最後にコロナにかかってしまい何日か家にこもることになり最後1週間実習できなかったのが残念でした。

Q. 今回の派遣先への 留学を希望している 後輩たちへの メッセージ

キャンベラ病院は非常に大きく設備も整っていて、やりたいことを伝えればやらせてくれる環境が整っています。無理に拘束されるようなことはないの、体力的精神的に余裕を持ちながら、かつやりたいことにチャレンジできる環境です。キャンベラは自然豊かで静かで治安も良いところですし、2ヶ月あればキャンベラ観光も存分に楽しめると思います。また、オーストラリアの医療制度はとても興味深く、多様性という観点でも行って初めて感じるが多かったです。いろんな面で見聞を広げ充実した時間が過ごせると思います。

Q. 留学プログラムへの 応募前や選考、 渡航前などに大変や 不安だったこと

選考のためのTOEFLの勉強が大変でしたがなんとか必要な点数を取ることができました。留学が決まってからは色々な書類の準備が大変でした。渡航前は、FOCUS(事前準備教育)は頑張って取り組んだものの医学英語を覚えきれずに渡航したので実習についていけないか不安でした。

留学中のお気に入りの写真



キャンベラの象徴であるBurley Griffin湖と、その奥のMt.Ainslieです。紅葉も綺麗で

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：オーストラリア国立大学 キャンベラ病院（オーストラリア）

Q. 今回の留学プログラムの感想

ANUの医学教育では、患者さんとのコミュニケーション、そして問診や身体診察から始まり、アセスメント、プランまで考察してプレゼンテーションをする学習に特に力を入れており、私もその機会を豊富に頂きました。また、病院での実習に加えてANU医学部のインタラクティブな講義も多数受講することができ、充実した2ヶ月になりました。医学知識や英語力の向上に加え、主体的に学ぶ現地の学生に刺激をもらい、また日本とオーストラリアの医療システムや働き方が大きく違うことも学びました。

2ヶ月間、移民大国のオーストラリアで様々な国の方々と接することで、自分の“当たり前”を見つめ直すいい機会になったと感じています。

Q. 健康管理や危機管理について

キャンベラはとても治安がいい都市で安心して生活できました。しかし、街灯が少ないため実習の終了時刻が遅くなる時はバスを利用して帰宅していました。

Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ

日本とは違う医療制度を見て、日本とは違う医療教育を受けられることはとてもよい経験になりました。オーストラリアはアジア人も多く、留学生だからと疎外感を感じることもありませんでしたし、第2外国語として日本語が人気だからか日本人に対して良いイメージを持ってくれている人も多く、留学生である私たちにとても親切に接してくれます。実習以外でも、キャンベラは文化的で自然の多い美しい都市で週末リフレッシュするにも最適な場所でした。是非キャンベラに留学してみてください！

Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと

オーストラリア国立大学に提出する申請書類の作成が大変でした。手続きに時間がかかる書類も多かったので、派遣学生全員で協力して進め、わからないところは既にオーストラリア国立大学に留学した先輩方に助けて頂きました。

留学中のお気に入りの写真



コメント：回診後にオーストラリアの学生・先生方と撮った写真です！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同

TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：国立台湾大学（台湾）

Q.今回の留学プログラムの感想	海外生活を通して自分がいかに狭い視野と価値観の中で生きていたかを実感できた。生活や実習を通して台湾の人々の価値観や文化を捉えることができ、日本との違いとそれぞれの利点欠点を感じることができた。具体的には病院の廊下にベッドがたくさんあり、そこにERに来院した患者が寝かされていて医者が診察して回っているという光景や、入院した患者の世話は基本的に家族が見るので病室に家族用のベッドがあり家族が普通に寝ていることが衝撃的だった。研修については台湾トップの病院で優秀な先生と学生のもと欧米に追いつけ追い越せと新しいことに挑戦しそれを論文にして世界に発表するんだという気概を感じることができた。また電子化も進んでいて効率よく医療が行われているという感想を抱いた。	 コメント：病院の隣にある国立台湾大学の医学部の建物です。大きなカンファがこの中
Q.健康管理や危機管理について	持ち物には注意をしていたので盗難にはあわなかった。具体的には少し良いホテルに泊まる、スーツケースに鍵をかけて見つけにくいところにお金を入れておく、前のポケットや前かけのカバンに財布を入れるなど。健康については一日だけ具合が悪く早退したが、水道水を大量に飲まない、手洗いをするなど普通のことをすれば大丈夫だと思う。	
Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	もし長期で提携校に行けなくてもVSLOを通じて4週間留学をすると短期の人たちより長く滞在できる分、観光や現地での生活により慣れることができ良いと思います。もちろん中国語ができることに越したことはないですが、少し勉強すれば1ヶ月の生活はできます。実習に関しては学生のやれることは医科歯科と同じように限られているので、ルールの範囲で積極的に行った方がいいと思いますし、日本人がどんなに頑張っても海外で自己主張が強すぎることはないと思うのでガンガン行きましょう。	
Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	やはり準備はとにかく早めにしたほうが良いと思いますが、万が一ギリギリになっても台湾はなんとかなる場所なので大丈夫だと思います。海外での一人暮らしを学生のうちに少しでも体験できることがとても大きいと思うので、一人暮らしが初めて、食事が合うかわからない、体調を崩しやすい、英語や中国語ができない、これらの不安は受け入れた上でそれを乗り越える体験ができると思います。	

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同